



年 組 名前

# 道新でワークシート

## 札幌の国道脇 クマ仁王立ち

札幌市南区豊滝の国道230号の道路脇で17日夕、本紙のカメラマンがヒグマの雌1頭の写真を撮影した。クマは上体を起こし、国道の北側を流れる豊平川方面から道路を渡ろうと左右を見るそぶりをしたが、すぐにやぶに戻り、姿を消した。

現場は開発局豊滝除雪ステーションから札幌中心部方向に約500mの地点。交通量が多く、直後には歩道をシヨギングする人や自転車を通り過ぎる子供もいた。近くで果樹園アルシエフェルム（豊滝1）を営む小仲美

異例の明るい時間帯 本紙カメラマン撮影

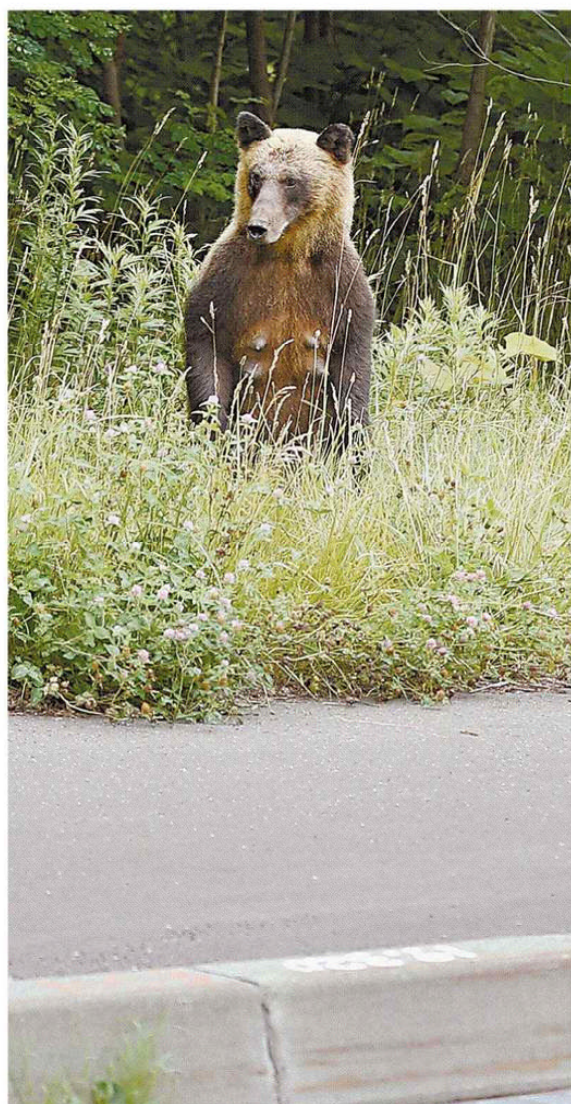


智子さん(71)は「クマ対策の電気柵を昨年から使っているが、

こんな明るい時間に出るとはびっくり」と驚く。

クマの生態に詳しい酪農学園大の佐藤喜和教授（野生動物生態学）によると、雄の行動範囲は1日100キロに及ぶのに対し、雌は半径数百メートルに定住。乳房が見える雌は授乳中で、近くに子グマがいる可能性があるという。

佐藤教授は「周辺に雌がいるのは知られていたが、明るい時間にあの場所に出た例はあまり聞かず、生態調査が必要。万一クマに遭遇しても騒がず、ゆっくり距離を取ってほしい」と話す。（津野慶）



国道230号沿いに姿を見せ、横断するそぶりを見せたヒグマ＝17日午後4時40分ごろ、札幌市南区豊滝（西野正史撮影）

2018年7月18日朝刊社会面（記事は再編集しています）

①果樹園の小仲さんは、どんなことに一番おどろいているのでしょうか。

②今年は、いつもの年以上にヒグマが目撃（もくげき）されています。周りの人に、クマへの注意を呼びかける文章を、5・7・5で作みましょう。

例) 気を付けて クマはいつでも あらわれる